

名古屋市立大学 SDGs活動レポート (2022年度版)



SDGs IDEA FORUM 2022で本学学生が最優秀賞、特別賞を受賞！



活動の概要	<p>本学では、名古屋市と連携して、SDGs達成に向けた名古屋市の地域課題を大学生のアイデアで解決に導く「SDGs IDEA FORUM 2022」を実施しています。</p> <p>総数25件の応募アイデアのうち、書類審査を通過した優秀8チームが参加する「SDGs IDEA コンテスト」が2023年2月26日に本学さくら講堂で開催され、本学から参加した「ばくツーリズム」（人文社会学部3年）が最優秀賞を、「濱口ゼミ」（経済学部4年）が特別賞を受賞しました。</p>
活動の時期	2023年2月
関連URL	SDGs IDEA FORUM WEBサイト



【最優秀賞】

チーム名：ばくツーリズム（人文社会学部3年）
 企画名：『なごやばく博物館（なごやばくばくぶつかん）』
 地域課題：「サステナブルな観光都市名古屋の実現」



【特別賞】

チーム名：濱口ゼミ（経済学部4年）
 企画名：『捨てられていたであろう食品を使って子どもの料理教室を開こうプロジェクトー食品ロスを削減しつつ子どものコミュニティを作るー』
 地域課題：「地域コミュニティが活性化するまちづくり」

環境デーなごや2022パートナーシップ事業として地域 美化活動を実施



環境デーなごや2022パートナーシップ事業の一環として、2022年6月3日（金）に桜山（川澄）キャンパス周辺の地域美化活動を行いました。

当日は、生き物との共生・脱炭素社会の実現・循環型社会の構築などをテーマに、それぞれの地域で清掃活動や環境学習などを実施する「地域行事」として、SDGsセンターの林センター長を含む教職員と学生13名が、キャンパス周辺の清掃を行いました。

環境デーなごやの詳細については、以下のサイトをご覧ください。

[「環境デーなごや」のホームページ](#)



北千種キャンパス 看板下の植込に建築都市領域の大野 暁彦准教授と学生が地域在来種の苗木を植えました



活動の概要	<p>ランドスケープ(景観)設計を専門分野にしている建築都市領域の大野暁彦准教授と研究室の学生さんが、古出来通の歩道沿いに設置されている本学北千種キャンパスの看板下花壇に、地域在来種の草花を植栽しました。</p> <p>植栽した草花の多くは、現在ではほとんど都市部では見られなくなりましたが、元々は濃尾平野の多くの緑地で普通に見られた草花です。できるだけこの地域の遺伝子型を保全するため産地にこだわり、</p> <p>岐阜県産 ジャノヒゲ、ナキリスゲ、ヤブコウジ 愛知県産 ノコンギク、キンミズヒキ</p> <p>など、特別に栽培された苗を選出して植栽しています。</p> <p>これらの取り組みは、本学全体で取り組んでいるSDGsのうち、SDG15「陸の豊かさを守ろう」に関わる取り組みとして、大学教育の一つとしてだけでなく、地域に発信し地域の自然環境へ貢献する活動として展開しています。</p>
活動の時期	2022年以降
関連URL	https://www.nagoya-cu.ac.jp/sda/news/20220808/

SDGs IDEA 研究会を開催



<p>活動の概要</p>	<p>本学は、SDGs達成に向けた名古屋市の地域課題を大学生のアイデアで解決に導く「SDGs IDEA FORUM 2022」を名古屋市と共催しています。この活動の一環として、2022年12月14日に、SDGs IDEA 研究会を開催しました。</p> <p>当日は、SDGs IDEA FORUM 2022にエントリーしている名古屋市内の学生36名が参加しました。賛同企業による企業紹介、SDGs IDEA FORUM 2021最優秀賞受賞チーム（南山大学 ロバートゼミ「フードロス×教育」）によるプレゼンテーションの後、参加学生同士の交流会が行われ、1月15日提出期限のアイデアシート作成に向けた情報交換が行われました。</p> <p>【SDGs IDEA FORUM 2022でアイデアを募集する4つの地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ジェンダー平等を実現する社会づくり ●地域コミュニティが活性化するまちづくり ●サステナブルな観光都市名古屋の実現 ●脱炭素社会をめざすまちづくり
<p>活動の時期</p>	<p>2022年12月</p>
<p>関連URL</p>	<p>SDGs IDEA FORUM 2022 WEBサイト</p>



2022年度 生物多様性の保全に関連する学術研究等の推進



活動の概要	<p>① 生物多様性研究センターを中心とした生物多様性の保全に関連する研究の実施</p> <p>理学研究科では、陸の豊かさを守るために（SDGs 目標 15）、名古屋周辺に生息する貝類や昆虫類などの標本を収集するとともに、絶滅が危惧される両生類、バッタ類、貝類などについての研究結果を論文にまとめて公表しました。また、海の豊かさを守るために（SDGs 目標 14）、インドネシアやタイの魚類に関する標本収集と DNA 解析も行いました。</p> <p>さらに、理学研究科教員が名古屋市環境局生物多様性推進参与を兼任し、同局なごや生物多様性センター及びなごや生物多様性保全活動協議会が企画立案する生物保全活動や普及啓発イベント等に対する助言を行うとともに、なごや生物多様性センターの機関誌「なごやの生物多様性」の編集長として編集業務全般において協働しました。</p> <p>② 環境分野に係る外部研究資金獲得に向けて公募情報を発信するなど研究支援の実施</p> <p>環境分野に係る外部研究資金獲得に向けて公募情報を発信するなど、研究支援を行いました。</p> <p><公募情報の発信実績></p> <ul style="list-style-type: none">・総合地球環境学研究所の研究プロジェクト・一般財団法人藤森科学技術振興財団研究助成・公益財団法人八洲環境技術振興財団研究助成・公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団環境プロジェクト助成 など
活動の時期	2022年度実績
関連URL	環境報告書2022